



JASDAQ

平成29年3月29日

各 位

会 社 名 **ソレキア株式会社**
代 表 者 名 代表取締役社長 小林 義和
(JASDAQ・コード番号 9867)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役総務部長 針生 貞裕
電 話 03-3732-1131

**佐々木ベジ氏による買付条件等の変更後の当社株券に対する
公開買付けに関する意見表明（反対）のお知らせ**

平成29年3月21日に開示いたしました「佐々木ベジ氏による当社株券に対する公開買付けの買付条件等の変更に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、平成29年2月3日に佐々木ベジ氏（以下「公開買付者」といいます。）により開始された当社株券（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）について、公開買付者は、平成29年3月21日付で本公開買付けの買付け等の価格（以下「本公開買付価格」といいます。）を当社株式1株につき、金2,800円から金3,700円に引き上げる等の買付条件等の変更を行いました。

当社は、本日開催の取締役会において、平成29年3月10日に開示いたしました「佐々木ベジ氏による当社株券に対する公開買付けに関する意見表明（反対）のお知らせ」（以下「前回反対表明プレスリリース」といいます。）における意見表明（反対）の内容を維持することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 買付条件等の変更について

公開買付者が平成29年3月21日付で提出した公開買付届出書の訂正届出書によれば、公開買付者は、本公開買付価格を当社株式1株につき、金2,800円から金3,700円に引き上げるとともに、買付け等の期間（以下「本公開買付期間」といいます。）の末日を平成29年4月7日から平成29年4月14日まで延長する旨の買付条件等の変更（以下「本買付条件変更」といいます。）を行っております。

2. 本買付条件変更を踏まえた本公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由

(1) 意見の内容

当社は、平成 29 年 3 月 29 日開催の取締役会において、本買付条件変更後も、前回反対表明プレスリリースにおいて既にお知らせいたしました、本公開買付けに反対する旨の意見を維持することを決議いたしました。

従いまして、株主の皆様におかれましては、本公開買付けに応募されないようお願い申し上げます。

(2) 意見の根拠及び理由

当社は、本公開買付けについて、前回反対表明プレスリリースのとおり、反対する旨の意見を表明しておりました。

前回反対表明プレスリリースのとおり、(i)当社の置かれている事業環境、(ii)取引先との長期的関係構築の重要性、(iii)安定した財務基盤と従業員の協調の重要性及び(iv)公開買付者の当社のビジネスパートナーとしての適切性を具体的に検討した結果、公開買付者の提案は、当社の事業内容、企業価値の本質を理解したものではなく、その短期的な視点による経営施策は当社の企業価値の根幹を毀損するおそれすらあると考えております。当社は、これに加え、当社の事業に関する公開買付者の理解、知識、経験やステークホルダーに無配慮である態度等を総合的に勘案し、本公開買付けは、当社の企業価値を毀損するおそれがあるものであると判断し、本公開買付けに反対の意見を表明しておりました（詳細は、前回反対表明プレスリリースをご参照ください）。

当社は、本買付条件変更を受けて、本公開買付けに関し選任しておりましたリーガル・アドバイザーであるアンダーソン・毛利・友常法律事務所及びファイナンシャル・アドバイザーである大和証券株式会社とともに、公開買付者が平成 29 年 3 月 21 日付で提出した公開買付届出書の訂正届出書その他公開買付者が提出した書面の内容等を分析し、本買付条件変更について評価・検討いたしました。しかしながら、公開買付者は、当社が反対の意見表明をした根拠について一切触れることなく、また、公開買付け後の経営方針についての補足もありません。本買付条件変更は、本公開買付価格と本公開買付期間の変更をするにとどまります。したがって、当社は、本買付条件変更を踏まえても、上記の当社の懸念は何ら解消されておらず、本公開買付けは、当社の企業価値を毀損するおそれがあるものであると判断いたしました。

従いまして、当社は、本公開買付けについて反対の意見を維持することといたしました。

以上